



碧南ロータリークラブ週報

第2378回例会 平成19年9月26日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

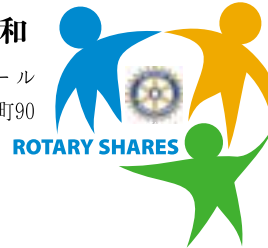
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
分かち合いの心**

● 斉 唱

ロータリーソング 「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

半 田RC 伊藤良夫君 古市晃久君

三河安城RC 稲垣 靖君

西 尾RC 浅岡正玄君 大内基浩君 岡田光祥君 小田井博茂君 榊原康正君

鳥居忠善君 藤田昭博君

高 浜RC 小笠原芳夫君 齊藤正吉君 杉浦 誠君 鈴木政幸君 野々山貴文君

都築 求君 宮田克弥君

西尾KIRARARC 磯貝総一郎君 小島富雄君 長野敏行君 齋藤保夫君 新海雄二君

二宮誠二君 齋藤 勉君 石川逸夫君 中根勝美君 高須 光君



鈴木敏弘会長

会 長 挨 拶

48年前の今日、伊勢湾台風が来襲し、この地方に大きな災害をもたらしました。たしか、6000名弱の死者を出し、1ヶ月程の停電で思い出の深い台風でございました。

当時私は弱冠の18才でありました。二度とこのような大きな災害をもたらした台風がこない事をお祈り致します。

又、明るる日の27日は会員の皆様が平岩名誉会員様よりお聞きになりました、碧南クラブのチャーターナイトの日でございました。

新美孝実行委員長様のもと、創立50周年記念大会があと1年となりました。

新美実行委員長さんは、式典は“厳かに” 祝宴は“華やかに” 行いたいと言っておられます。

本年度は私自身“創立50周年”に向って、会員の皆様方のお力添えをお願いしております。どうぞよろしくお願い致します。

今月は職業奉仕月間ではありませんが、10月がガバナー補佐訪問、ガバナー訪問等に於て、職場例会の日程を組み込む事が出来ませんでしたので、繰り上げこの9月の最終例会にさせて頂きましたので、ご理解頂きますよう、お願い致します。

本年度は会員の樅山善久さんの会社、丸栄陶業株式会社様へお邪魔して、職場例会を開催させて頂いております。

大変御迷惑をお掛け致しますがよろしくお願い致します。又、職業奉仕委員長の中根佑治先生

並びに委員の皆様のお骨折りを頂き、御礼申し上げます。

この西三河地区の地場産業の瓦会社での職場例会は10数年振りと存じます。おそらく、丸栄陶業さんの衣浦工場で開催されたと思います。その当時でもオートメ化による瓦の生産が行なわれており、その後の一層の技術向上、製品向上は目を見張る事と存じます。

後に縦山善久さんのご子息であり、営業・本部長さんの常務さんより会社等のご案内、説明等をして頂けると聞いておりますので、よろしくお願い致します。

縦山さんをご存知の如く公私に亘り地域への貢献、会社を通して、地域への貢献をして見えます。正にロータリーの原理原則の職業奉仕を実践して見えます。この会社で職場例会を開催させて頂ける事は皆様にとっても意義ある職場例会になると存じます。今日は職場例会をさせて頂きました、丸栄陶業株式会社様に本当に有難く御礼申し上げますとともに、今後一層の御繁栄をお祈り申し上げまして御礼と御挨拶と致します。

尚、来週はガバナー補佐訪問です。是非ご出席頂きますようお願い致します。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・幹事報告書の2番目のロータリレートについての文章の中で「10月1日より」がミスプリントであります。

「9月1日より」に訂正して下さい。

- ・本日は縦山会員には設営ありがとうございます。記念品まで頂き、厚く御礼申し上げます。
- ・次週10月3日(水)の例会は、「ガバナー補佐訪問」となります。

例会終了後には、ガバナー補佐をお迎えして「第3回クラブ協議会」を開催します。

委員長以上の方はよろしくお願い致します。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

こんにちは、職業奉仕委員会の事業として、職場訪問をし、職場例会を開催したところ、こんなに多くの方が御参加して頂きありがとうございます。

会場を提供して頂きました、会社の皆様におかれましては、誠にありがとうございます。

職場例会ということで、碧南の地場産業で創業200年を超える老舗の丸栄陶業様には、会社を上げてお迎え頂き、後程、工場見学とギャラリーを見せて頂きます。会社の概要の説明は縦山社長の息子さんの縦山常務さんがされるそうです。

それでは、まずは縦山社長様に挨拶をよろしくお願い致します。



職業奉仕委員長・中根佑治君

卓話

「社長挨拶」 会員 丸栄陶業(株) 代表取締役 縦山善久君

皆さん、こんにちは

丸栄陶業によくお越し頂きました。

ロータリーの職場例会に選んで頂きましたことを大変光栄に思っております。しかし、皆様方はトヨタさんの関連産業の方が多く、

長くISO等をしっかりやっておられ、少し恥ずかしい気持ちもありますが、担当の中根委員長さん、鈴木会長さんのたつてのお願いを受けて、お引き受けさせて頂きました。それでは、大変短い時間ですが、10分から15分位、私の息子で常務でございますので、一回試しに「会社概要」を



やらせようと思っておりますが、その前に、私の会社のカタログを専属でやってます。栗田次男の写真ポスター展を一階の展示室で開催しています。彼とは30年近いお付き合いでございます。彼はグラフィックデザイナーですが、カメラが趣味でコピーライターのようなことも全て一人でやっておりました。今回、彼も腕を上げるために、一つのトレーニングということで、ポスター展を開催したわけで、出来映えも良いので皆様に見て頂きたいと思っております。会社としても、カタログ・ポスター等もっと良くしたく思っているわけでありまして。

今日は、工場、ポスター展もひとつずつ見て頂きたいと思っております。では、息子にバトンタッチをして、昨今の厳しい情勢について、話しをさせますので、よろしくお願ひいたします。

「会社概要」 丸栄陶業(株) 常務取締役 縦山朋久氏

常務の縦山朋久でございます。

簡単に会社内容を説明させていただきます。

主な業務内容は三州瓦の一業者として粘土瓦の製造をしています。

碧南市内の5ヵ所に工場があり、栃木、佐賀に販売拠点をもち、北海道一部を除く日本全域、海外に粘土瓦の販売をおこなっています。

生産量の約40%をしめるいぶし瓦は全国一の生産量であり、他に平板瓦などの洋瓦を約60%生産しています。

三州瓦は原料に恵まれ、寒冷地に向く、精度の高い粘土瓦の生産に適しており、関連産業の集積によって地場産業として成長してきました。全国的な粘土瓦の需要は減退しているが、三州の粘土瓦も減少しながらも販売シェアを伸ばしています。品質によるものと和形瓦から平板瓦への需要の変化に対応してきたことによるところが大きいと思っております。

住宅需要の減退、軽い屋根が良いとの誤解、燃料の高騰により、粘土瓦業界は非常に厳しい状況におかれています。販売価格の値上げや海外の市場開拓により乗り切っていきたい。

では、これから会社のカタログを作成しているデザイナーの栗田次男氏のA1ポスター展と昨年6月に竣工しました平板瓦生産ラインの本社第三工場の130万枚生産設備を御案内させていただきます。





次回例会案内 平成19年10月10日 (水)
卓話「米山記念奨学会の現状」
地区米山奨学委員長 大西弘高氏